

館長だより

山形県産業科学館

令和 7 年 6 月 1 4 日 (土)

発行 館長 加 藤 智 一

九州に生きた東北の「蝦夷（えみし）」「俘囚（ふしゅう）」

以前、館長だより第 138 号にてとりあげました「バイオミネラリゼーション」。バクテリアが鉱物をつくるというお話。あの時は、古代人の顔料としての赤。「パイプ状べんがら」を利用した彩色土器について触れさせていただきました。後にも先にも、私ごとときど素人が、古代の彩色文化に係る所見を「地質文化研究会」で発表させていただくなどという大それたことは、これ一回きりではありますが良い体験をさせていただきました。

そんなわけで、以前から東北の古代文化については少なからず関心がありました。そんな中、普段あまり真剣にみることのない朝日新聞の文化欄(2025.6.10)に、「異郷・九州に生きた東北の「蝦夷（えみし）」」という見出しが。ムム!しかもどこかで見たような?ソウ、「ヘラ絞り」が施されているとおぼしき「黒色土器」の写真まで付いているではないか。これはじっくり読まねば……………。

この一風変わった土器が見つかったのは 2011 年 7 世紀の對外防衛施設古代山城の大野城が築かれた山のふもとにある薬師の森遺跡（奈良時代～平安時代の集落跡）からです。専門家の見立てでは、「古代東北地方の黒色土器に似ている。蝦夷が使った土器ではないか!」とのこと。九州でなぜ?さらに、蝦夷の住まいに特徴的なかまどの長い煙道がついた竪穴建物跡も見つかって、こりゃ間違いないな!! 蝦夷は南九州の隼人（はやと）などととともに、当時の中央政権に抵抗を続けた「まつろわぬ民」。専門家は、ここに「俘囚（ふしゅう）」の集団がいたと考えているそうです。「続日本記」によれば、中央政権に服属した蝦夷たちは俘囚と呼ばれ、全国各地に強制移住させられたとか。移住先は 35 ケ国におよび、異民族の同化政策とも言われているけれど、弓術や馬術に優れ、

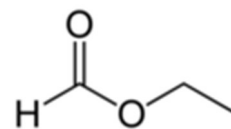


勇猛果敢な彼らの戦闘力はかなり期待されていたらしいです。

宇宙の匂い

宇宙空間は真空に限りなく近いので匂いはしなさそうなイメージですが、厳密にはわずかな分子が存在しています。宇宙を漂うわずかな分子を嗅覚で捉えることで人間は「宇宙の匂い」を感じることができ、実際に宇宙飛行士は「宇宙は独特の匂いがした」と証言しています。宇宙はどんな匂いがするのかについて、アメリカの科学情報誌 Popular Science からご紹介します。

アメリカのニュースメディア・CNN の宇宙特派員だったマイルズ・オブライエン氏と、女性として史上初めて国際宇宙ステーション(ISS)の機長を務めたペギー・ウィットソン氏は 2002 年の対談で、「銃を撃った後の匂いのように例えていました」と証言しています。また、元宇宙飛行士のクリス・ハドフィールド氏は「宇宙はまるで魔女がちょうどそこにいたかのように、硫黄のような匂いがします」と証言しています。3 回の船外活動を経験した元宇宙飛行士のトーマス・ジョーンズ氏は「エアロックを再加圧してスーツから降りると、はっきりとしたオゾンの臭い、かすかな刺激臭があります」「匂いは、宇宙遊泳後のシャトルまたは宇宙ステーションでのみ発生します」と、宇宙関連ニュースサイトの Space.com で語っています。また、マックスプランク電波天文学研究所の天文学者であるアルノー・ベロッシュ氏は、銀河の中心部にある星雲からの電波を解析し、「ギ酸エチル」と呼ばれる物質が存在することをつきとめました。この「ギ酸エチル」はラズベリーやラム酒の風味の元になる物質といわれており、宇宙の香りを再現したというフレーバーティー「SPACE TEA」は、このベロッシュ氏の発見を元に開発されています。



しかし一方で、2012 年にある研究者が、その匂いは「宇宙から宇宙船内に持ち込まれた粒子と空気が混ざった際の高エネルギーの振動」によって発生している可能性が高いと語っていますし、カナダ人宇宙飛行士 Chris Hadfield は、「宇宙は実際は無臭の可能性が高い」と語っています。個人的には、宇宙はエステル系の甘い香りで満ち溢れていて欲しい。